

恒藤武二名誉教授略年譜および主要著作目録

略年譜

- 一九一九年八月三十一日 京都市に生まれる
- 一九三二年四月 京都府立第一中学入学
- 一九三七年三月 京都府立第一中学卒業
- 一九三九年四月 同志社大学予科入学
- 一九四三年九月 同志社大学法学部経済学科卒業
- 一九四三年九月 同志社大学法学部助手
- 一九四四年一月 同志社大学法学部退職
- 一九四六年四月 同志社大学法経学部助手
- 一九四七年三月 同志社大学法経学部助教授
- 一九四八年四月 学部分離により同志社大学法学部助教授
- 一九五〇年四月 同志社大学大学院法学研究科修士課程助教授
- 一九五二年五月 同志社大学法学部教授、同志社大学大学院法学研究科修士課程教授
- 一九六一年四月 同志社大学法学部長（六二年三月まで）
- 一九六三年四月 同志社大学大学院法学研究科博士課程教授
- 一九六七年四月 同志社大学法学部長（六八年三月まで）
- 一九九〇年三月 同志社大学を定年退職
- 一九九〇年四月 同志社大学名誉教授

## 主要著作目録

## 【編著書】

- 法 学 入 門 (共著) (ミネルヴァ書房) (一九五二年)  
 判例労働法 (共著) (ミネルヴァ書房) (一九五三年)  
 フランス労働法史 (法学理論篇) (日本評論社) (一九五五年)  
 労働法講義 (共編) (青林書院新社) (一九七〇年)  
 労働基準法 (ミネルヴァ書房) (一九七一年)  
 教材法学概論 (編著) (ミネルヴァ書房) (一九七六年)  
 法 思 想 史 (筑摩書房) (一九七七年)  
 論争労働法 (編著) (世界思想社) (一九七八年)  
 労働基準法 (新版) (ミネルヴァ書房) (一九七九年)  
 教 材 法 学 (編著) (ミネルヴァ書房) (一九八三年)  
 ヨーロッパ思想史——社会思想を中心に—— (編著) (法律文化社) (一九八七年)  
 労働者保護法——労働基準法を軸として—— (編著) (ミネルヴァ書房) (一九八九年)

## 【訳書】

- R・パウンド「法哲学入門」 (ミネルヴァ書房) (一九五七年)  
 R・パウンド「自由権の歴史」 (共訳) (ミネルヴァ書房) (一九五九年)  
 K・N・ルウェリンほか「現代の法思想——米英独仏論集——」 (共訳) (ミネルヴァ書房) (一九六六年)

ディドロ「自然法・政治的権威」(桑原武夫編訳『百科全書』所収)(岩波書店)(一九七一年)

【主要論文】

(一九四九年)

法解釈における社会的制約

(同志社法学三号)

(一九五〇年)

ルソーの社会契約説について

(同志社法学五号)

(一九五一年)

ルソーの社会契約説と一般意志の理論

(桑原武夫編『ルソー研究』)

ルソー「社会契約論」草稿(抄訳一)(研究覚書)

(同志社法学七号)

ルソー「社会契約論」草稿(抄訳二・完)

(同志社法学九号)

フランスにおける労働協約法の発展に関する一考察

——労働運動史との関連において——

(同志社法学一一号)

(一九五二年)

ギユルヴィッチの法社会学

(同志社法学一二号)

仏国における労働争議の調停・仲裁制度

(季刊労働法六号)

(一九五三年)

百科全書に表れた政治思想

——ディドロおよびヴォルテールを中心として——

(同志社法学一六号)

フランス法における国家権力

(法哲学年報一九五三年『法と国家権力Ⅱ(類型)』)

フランス法における争議権

(同志社法学一九号)

(一九五四年)

フランス法における司法権

争議権についての試論

(一九五五年)

「人権ならびに市民権の宣言」の諸草案(一) 訳

ロベスピエールの人権宣言草案(訳)

有給休暇中の争議行為について

上部遮断ストについて

(一九五六年)

近世フランスの法思想

宿直および日直について

(一九五七年)

デュギー

フランスにおける同情ストについて

労働協約の平和義務

(一九五八年)

法と国家権力

J・J・ルソー

フランスの法社会学(共同執筆)

(季刊法律学一八号)

(同志社法学二四号)

(同志社法学三〇号)

(同志社法学三二号)

(労働法律旬報二一六号)

(労働法七号)

(法哲学講座第三卷『法思想の歴史的展開(I)』)

(同志社法学三四号)

(木村亀二編『近世法思想史の人々』)

(季刊労働法二六号)

(労働法一〇号)

(理想三〇二号及び和田英夫編『法と国家』)

(法学セミナー二七号)

(季刊法律学二六号)

(一九五九年)

デュギー「国家変遷論」

労働協約の平和条項

労組の内部運営にともなう法的問題について

平和義務違反の争議行為について

(一九六〇年)

横田喜三郎論——その法イデオロギー——

戦後外国労働法の展開——フランス——

(一九六一年)

法実証主義弁護

(一九六二年)

使用者の言論の自由と不当労働行為

(一九六三年)

労働協約の平和義務

組合役員

(一九六四年)

法と道徳の現代的交渉

(一九六五年)

法と倫理

(法学セミナー三九号)

(総合判例研究叢書労働法(1))

(季刊労働法三二二号)

(労働法一三三号)

(法律時報三七二号)

(労働法一六号)

(同志社法学六三三号)

(末川先生古稀記念論集『権利の濫用(下)』)

(後藤清先生還暦記念論集『労働協約——その理論と実際——』)

(労働法大系第一巻『労働組合』)

(岩波講座現代法I『現代法の展開』)

(思想四九三号)

現代イギリス法理学の実証的・経験的傾向について (一)

(同志社法学九三号)

現代イギリス法理学の実証的・経験的傾向について (二・完)

(同志社法学九四号)

ストライキ

(浅井清信教授還暦記念『労働争議法論』)

(一九六六年)

現代の法理論における名目論的傾向について

(法哲学年報一九六五年『現代法哲学の諸傾向』)

(一九六七年)

現代法哲学の動向と政治への視角

(理想四〇五号)

ハート

(矢崎光圀編『現代法思想の潮流―二十世紀の法思想家たち―』)

サボタージュ

(新労働法講座第四卷『争議行為』)

(一九六九年)

従業員の政治活動

(季刊労働法七三号)

(一九七六年)

J・ベンサムとその功利主義思想について

(加藤新平教授退官記念『法理学の諸問題』)

(一九八二年)

休憩・休日・年次有給休暇

(片岡昇他著『新労働基準法論』)

(一九八四年)

法思想史の観点から見たルソーの社会契約説

(法哲学年報一九八三年『社会契約論』)